

二地域居住推進に向けたJALと自治体の連携ツアー

※日本航空(株)(JAL)の2020年11月30日記者発表資料より

- ・二地域居住の推進に向け、自治体と連携したツアーを「JALダイナミックパッケージ」で販売
- ・現地で、自治体の担当職員を訪問し、直接相談できる機会をご用意
- ・各地の魅力を紹介するレポート記事をWebマガジン「OnTrip JAL」に掲載
- ・第一弾で、帯広市、豊岡市、宗像市、阿蘇市を対象としたツアーの販売を、2020年11月30日より開始

■趣 旨

- ・2地域居住は、都市と地方にそれぞれ拠点を持ち、定期的に地方で休日を過ごしたり、仕事をしたりする、withコロナ・アフターコロナにおいて注目されているライフスタイルの一つ
- ・コロナ禍におけるニューノーマルへの対応の一環として、2地域居住の推進に向けたプランを販売開始
- ・各自治体と連携したツアー(2泊3日)を企画し、お客さまへ、観光の魅力だけでなく、就労環境や生活環境といった実際の2地域居住をイメージしながら、現地を確認いただく機会を提供

■商品特徴

- ・滞在中、希望の日時に各市の担当者を訪問し、2地域居住について直接に相談できる。それ以外は自由にお過ごしいただけるが、要望に応じて、担当者が各地のスポットを案内できる自治体もある。モデルコースは下記参照。

市の担当者への訪問、起業・創業支援スペース「LAND」の紹介、Wi-Fi完備のコワーキング環境も見学

コワーキングスペースなど就労環境の紹介、教育への取り組みの案内や小学校訪問を実施

市担当職員が、産直品を扱う店舗や、複合型公共施設など、買物や子育てなどに便利なスポットを案内

希望に合わせた物件や、コワーキングスペースを紹介、2地域居住に関する手続きなどの相談も承る



※本企画は北海道帯広市の助成金により実施しています。

※本企画は兵庫県豊岡市の助成金により実施しています。